

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	256,283	流 動 負 債	97,514
現金及び預金	43,289	買掛金	18,626
受取手形及び売掛金	104,180	短期借入金	30,024
商 品	107,336	未払金	—
未収入金	2,607	未払費用	27,975
前払費用	1,327	前受金	7,595
繰延税金資産	—	未払消費税	5,100
貸倒引当金	△2,458	預り金	2,613
		未払法人税等	180
		賞与引当金	5,400
固 定 資 産	35,387	固 定 負 債	151,557
有形固定資産	—	長期借入金	116,618
工具器具備品	—	退職給付に係る負債	34,939
無形固定資産	—		
ソフトウェア	—	負債の部合計	249,072
その他	—		
投資その他の資産	35,387	純資産の部	
投資有価証券	0	株 主 資 本	42,598
保 証 金	300	資 本 金	76,000
繰延税金資産	35,087	資本剰余金	—
その他	—	利益剰余金	△33,401
		その他利益剰余金	△33,401
		純資産の部合計	42,598
資 産 合 計	291,671	負債及び純資産合計	291,671

(記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。)

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法に基づく低価法を採用しています。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

営業債権等の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、当期に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 退職給付に係る負債

従業員の退職給付に備えるため、当期末における自己都合用支給額を計上しております。

(4) 収益および費用の計上基準

収益については、商品販売は出荷基準、その他は実現主義に基づき計上しております。
費用については発生主義に基づき計上しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	1,300株	－株	－	1,300株

3. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 32,768円18銭
(2) 1株当たり当期純利益 △17,272円88銭

以上